



吉原 欽一

米国の中間選挙は、民主党が勝利した。民主党が連邦議会上下両院ともに多数党となるのは、実に十二年ぶりのことである。

今回の中間選挙に対する米国民の関心は、次の二点に集約されたといつてよい。第一点は、共和党のたび重なる汚職事件とスキャンダルであり、第二点は、混乱するイラク情勢である。今回の中間選挙に限って言えば、比較的好調な米国経済がブッシュ政権と議会多数党である共和党に追い風となることはなかった。

### 共和党に逆風

ロバリストであるエイブラムズによる一連の議会買収工作に多くの共和党関係者が深く関与していたという事実が、共和党支持者に大きな衝撃を与えた。とりわけこの一大汚職事件に下院議会共和党最大の實力者であったディレイ院内総務が関与していたことは、中間選挙を控えていた共和党にとって大きな打撃であった。また選挙間近になって発覚した共和党下院議員の議会インターンに対するセクハラ行為は、その事実を隠蔽しようとした共和党指導部に対する批判と相まって、米国民の強い怒りを買った。さらに、選挙直前になってエイブラムズと関わりがあったオハイオ州選出のナイド院議員が急ぎよ出馬をとりやめたことは、共和党が「汚職と腐敗にまみれた党」であるというイメージを決定的なものにした。混乱するイラク情勢も共和党にとって逆風となった。選挙当日のMSNBCテレビ

## イラク、汚職、醜聞…国民は変化期待

# 米中間選挙民主党勝利 投票誘った「草の根連合」

の出口調査によると、今回の中間選挙を国家的な観点から投票すると答えた有権者が64%にのぼった。米国民は、混乱するイラク情勢を選挙の具体的な争点として見据えていたのである。しかし、大統領は選挙前に「新しい方向」を米国民に示すことはなかった。共和党の敗北が決定的となった選挙の翌日、大統領はラムスフェルド国防長官の辞任を認め、後任にゲイツ元CIA長官を指名した。ラムスフェルドの辞任が、イラク政策の「変更」を睨んだものであったことは確かである。しかし、この事実を選挙前に発表していたとしても、イラク戦争に「疲弊」していた米国民にとって、「汚職と腐敗にまみれた」共和党に「変化」を期待することはなかったであろう。

### 怒りを武器に

今回の中間選挙の一大特徴は、民主党と共和党がともに

の「怒り」をうまく民主党に回収した。これは、従来の「風」頼みの選挙に依拠してきた民主党を、選挙の「本番」に強い組織政党へと変貌させることに成功したことを意味する。一方、敗北した共和党系クルスルーツ連合であるが、彼らは共和党に対する強烈な逆風にもかかわらず、選挙の三日前から集中的にGOTVを行う「七十二時間計画」は、各選挙区で確実に民主党候補との差を縮めていった。もしモンタナ州とヴァージニア州で大接戦を制していれば、共和党は上院での多数党体制を死守することができた。今回の中間選挙に限っては、共和党得意の僅差で勝利するいつものパターンが裏目に出たといえよう。

### 決戦は2年後

中間選挙の結果を受けて、ブッシュはイラク政策を「変更」していくであろう。しかしその他の政策はどのようなだろうか。かつてクリントンは議会多数党であった共和党に

の出口調査によると、今回の中間選挙を国家的な観点から投票すると答えた有権者が64%にのぼった。米国民は、混乱するイラク情勢を選挙の具体的な争点として見据えていたのである。しかし、大統領は選挙前に「新しい方向」を米国民に示すことはなかった。共和党の敗北が決定的となった選挙の翌日、大統領はラムスフェルド国防長官の辞任を認め、後任にゲイツ元CIA長官を指名した。ラムスフェルドの辞任が、イラク政策の「変更」を睨んだものであったことは確かである。しかし、この事実を選挙前に発表していたとしても、イラク戦争に「疲弊」していた米国民にとって、「汚職と腐敗にまみれた」共和党に「変化」を期待することはなかったであろう。

今回の中間選挙の一大特徴は、民主党と共和党がともに

の「怒り」をうまく民主党に回収した。これは、従来の「風」頼みの選挙に依拠してきた民主党を、選挙の「本番」に強い組織政党へと変貌させることに成功したことを意味する。一方、敗北した共和党系クルスルーツ連合であるが、彼らは共和党に対する強烈な逆風にもかかわらず、選挙の三日前から集中的にGOTVを行う「七十二時間計画」は、各選挙区で確実に民主党候補との差を縮めていった。もしモンタナ州とヴァージニア州で大接戦を制していれば、共和党は上院での多数党体制を死守することができた。今回の中間選挙に限っては、共和党得意の僅差で勝利するいつものパターンが裏目に出たといえよう。